

愛知労働局、北監督署、名北協会、合同で 「全国安全週間キャンペーン・パトロール」実施

全国安全週間期間中の去る7月1日、当協会は愛知労働局、名古屋北労働基準監督署と合同で名古屋市中区錦にある名古屋商科大学丸の内キャンパス新築工事作業所を訪れ、「全国安全週間キャンペーン・パトロール」を実施しました。

当日はまず、新宅愛知労働局長が集まった約100名の作業員を前に、

「愛知労働局管内における労働災害の発生状況は本年に入り増加傾向が続き、生産量や取扱い量の増加に比例し災害も増えるという残念な状況になっています。全国安全週間の契機に、基本ルールの遵守の徹底をはじめとする労働災害防止対策の一層の徹底をお願いいたします。無事故、無災害で無事に竣工の日を迎えることができるよう祈念しま

す」と激励しました。

続いて、当協会の池戸副会長が「体調管理でリズム良く、ゆとりをもって作業にあたり、しっかりと段取り・打ち合わせ、決めたルールをがっちり守り、一人ひとりが安全作業を積み重ね、この工事が無事故・無災害で完了しますことをご祈念申

し上げます」と挨拶し、安全週間キャンペーン用品（ウエットティッシュ）を作業所長に手渡し、安全意識の向上を図りました。その後、工事現場のパトロールを実施し、墜落・転落や熱中症などへの対策状況を確認しました。パトロール後の講評では田中名古屋北労働基準監督署長が、「整理整頓、熱中症対策、墜落・転落

の対策がなされた理想的な現場でした。業界全体の底上げを希望します」と締めくくりました。

なお、当日現場ではテレビ局等の取材も受け、テレビ・新聞を通じて幅広く安全週間について周知を行うことができました。

また、当協会では全国安全週間中および準備期間中に、協会で開催する各種講習会場において、協会職員が受講生全員に安全週間キャンペーン用品を配布するなど、安全意識の啓発に努めました。



合同キャンペーン



新宅局長



池戸副会長



田中署長



工事現場をパトロールする一行



講習会場で安全週間キャンペーンを展開(協会大会議室)